

八代小学校への小規模特認校制度導入について（資料）

1 経過等

- (1) 豊岡市教育委員会では、少子化による様々な教育課題を解消するため、「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」を2021年12月に策定した。
- (2) 八代小学校について、計画では「八代小・日高小・静修小の3校での再編が望ましい」としているが、八代地区・八代小PTAから、八代小学校を小規模特認校とすることへの強い要望が出されている。
- (3) このことから、計画の中で、八代小学校への小規模特認校導入については、「様々な視点から協議・検討を進めていく」ことも記載している。
- (4) 計画初年度である2022年度からは、保護者や地区との意見交換会・説明会を開催するなど協議を進めていた。
- (5) 小規模特認校を導入し、継続していくためには、学校活動等について、地区の全面的な協力が必要であることから、小規模特認校制度を導入した場合の地区における取組等を具体化した「八代小学校小規模特認校実施計画」を地区が主体となり策定することとなった。
- (6) 2023年3月13日に地区から計画書が提出され、教育委員と地区関係者との意見交換等を経て、3月24日の定例教育委員会会議で、八代小学校に小規模特認校を導入する方針が決定された。

小規模特認校制度とは

- ・「学校選択制」の一形態である「特認校制」のうち、「小規模校」において取り入れられている制度
- ・通常、住所により通学する学校を定めているが、特認校については、通学区域と関係なく、当該市町内のどこからでも通学を認めるもの
- ・小規模特認校では、特色ある教育を推進し、区域外の児童生徒を呼び込むことにより、子どもたちの活動を充実させることや、複式学級の解消など学校の活性化を図ることを狙いとしている

（参考）近隣の小規模特認校制度導入校 … 養父市立建屋小学校

2 教育委員会の考え方

小規模特認校制度を導入する

(1) 導入理由

次の事項については、地区として相当な覚悟を持って計画として位置づけられているものであり、評価すべきものである。

保護者や地区住民の総意として、この計画を同意し、小規模特認校制度の導入を望んでいる以上、教育委員会として、これを受け止める必要があると考え、八代小学校に小規模特認校制度を導入することとする。

- ア 八代地区が小規模特認校を導入し、推進していくための組織を設置されたこと
- イ 芸術文化観光専門職大学との連携やロボットプログラミングの導入等といった独自の取組を地区自ら企画立案し、実施可能な状態にまで調整されていること
- ウ 計画の評価や、小規模特認校導入による成果がなかった場合の対応についても検討されていること

(2) 制度における課題

しかしながら、教育委員会としては、小規模特認校の導入については、次のような課題があると考える。

- ア 導入により一定の効果を得られている事例はあるものの、多くの学校では複式学級の解消にはつながっていない状況であり、仮に解消できたとしても、一時的・限定的なものとなることが推測されること。
- イ 他の校区の子どもや保護者が、その学校で学びたいと思えるような、魅力のある教育課程や地区独自の取組が継続的に必要であること。
そのためには、学校のみならず地区住民にとっても大きな負担が生じるものであること。
- ウ 小規模特認校制度を導入し、他の小規模校から制度利用希望者があらわれた場合、その学校にも児童数減の影響が生じること。

(3) 導入にあたっての付帯意見

上記の課題に対応するため、八代小学校に小規模特認校制度を導入するにあたっては、次のとおり意見として付する。

- ア 毎年行うとしている取組の地区での評価については、市教育委員会に結果を報告すること
- イ 地区での評価を踏まえ、教育委員会においても別に検証を行い、必要に応じて地区や学校に指導・助言等を行うこと
- ウ 小規模特認校制度の効果が得られていない等により、制度の継続を断念することとした場合には、速やかに統合に向けた協議を始めること
- エ 統合する場合、豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画に基づき日高小学校とすること
- オ 小規模特認校で行う取組について、事例として研究を行い、結果等については他の学校に還元すること
- カ 小規模特認校に対する不安が大きい保護者については、教育委員会や学校が相談に応じ、個別に配慮が必要であること

3 八代小学校 小規模特認校実施計画の内容（概要）

(1) 目指す姿

全校児童数が概ね 40 人で、一クラス以上複式学級が解消されている

(2) 実施期間

ア 計画の期間は 6 年間とする

イ 1 年ごとに保護者や学校の意見を聞きながら八代小学校の未来を考える会で評価を行う

ウ 2025 年度の 3 学期に見直しを行い、その後の実施可否を検討する

(3) 魅力あるカリキュラム

ア 芸術文化観光専門職大学と連携して演劇教育を授業として行う

イ レゴブロックによるロボットプログラミング教育を課外授業として、地区が主体となって行う

ウ そのほか、和太鼓、一輪車を授業として、農業体験、自然体験、野外活動を地区の事業として行う（従来の実施内容を継続・拡充）

(4) PTA 活動の人員不足解消

八代おもいやりネットが地域振興事業の一環として PTA 行事に協力する

(5) 広報活動

オープンスクールや八代地区の行事等を、八代小学校や八代おもいやりネットのホームページに掲載し、校区外の保護者・児童にも参加してもらえよう周知を行う。

4 今後の予定

(1) 2023 年度から

ア 特色のあるカリキュラム等の実践（学校・地区）

イ 制度の周知、授業や地区行事の見学・体験等（学校・地区）

ウ 制度利用者の募集（教育委員会・学校）

(2) 2024 年度から

制度利用者の入学・編入

(3) 2025 年度末

制度の継続判断

	2023年度				2024年度				2025年度				2026年度
	4	5～9	10～12	1～3	4	5～9	10～12	1～3	4	5～9	10～12	1～3	4～
八代小学校					●小規模特認校制度開始（利用者入学・編入）				●利用者入学・編入				●利用者入学・編入
	・特色ある教育の実践・PR				・学校見学会（オープンスクール等）				・学校見学会（オープンスクール等）				
地区	・地区の取組の実践・PR				・地区行事への参加体験				・地区行事への参加体験				
				●評価				●評価					●評価・継続判断
教育委員会		・制度導入の詳細調整											
		・希望者募集						・希望者募集				・希望者募集	
				●検証				●検証					●検証・継続判断

5 参考 これまでの経過

(市) …市教育委員会

(八) …八代地区

年	月	内 容
2021 年	2 月 10 日	(市) 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会から答申
	6 月 25 日	(八) 八代地区から要望書提出
	7 月 2 日	(市) 答申説明会（日高地域）
	10 月 1 日	(八) 八代小学校 P T A から要望書提出
	12 月 3 日	(市) 計画（案）説明会（日高地域）
	12 月	(市) 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画を策定
2022 年	5 月 15 日	(市) 八代小学校 第 1 回保護者向け意見交換会（ワークショップ）
	6 月 19 日	(市) 八代小学校 第 2 回保護者向け意見交換会（ワークショップ）
	8 月 31 日	(市) 八代小学校 住民向け説明会
	10 月 13 日	(市・八) 小規模特認校にかかる今後の進め方協議（八代地区関係者等）
	10 月 30 日	(八) 第 1 回八代小学校の未来を考える会実行委員会 （以降、2023 年 2 月 5 日までに 10 回開催）
2023 年	1 月 24 日	(八) 計画中間案を全戸配布
	2 月 18 日	(八) 八代小学校区の保護者に計画案を説明
	3 月 11 日	(八) 計画最終案を全戸配布
	3 月 13 日	(八) 教育委員会に計画を提出、計画内容を説明
	3 月 20 日	(市・八) 教育委員と八代地区関係者との意見交換会
	3 月 24 日	定例教育委員会会議で導入の方針を決定